

成長は無量大正

2年生に進級してはや2ヶ月がたちました。校内では1年生の元気な声が聞こえてきます。放課後には、市総体にむけて感染対策をしながら一生懸命部活動に打ち込む光景が見られます。希望に満ちた1年生の姿は、少しずつ中学生らしくなってきました。一年前に入学してきたみなさんの姿も同じように元気にあふれていたと思います。

では、現在はどうか？

授業には集中できていますか。わからない問題にあきらめずにやりぬいていますか。新学期にたてた夢実現プロジェクトのなりたい自分をめざして、5月は行動できましたか。希望や夢に胸はふくらんでいますか。

今一度、勉強や部活動、中学校生活に希望をもって入学してきた初心にかえって、まず今日の一日を充実させていきましょう。そして、次の県立川島中学校を担っていく学年へと成長してほしいと思います。

内観日記パート1



【内観日記のお題】今週をふり返り、家族の誰にどんなことでお世話になったか。自分は誰にどんなこと（どんな親切）をしたか。

●今週特にお世話になった人は二人です。まず一人めは母です。それは友だちと遊びに行くときや髪を切りにいくとき、お金を出してくれるからです。また、いつも家事をしてくれてとても助かっているし感謝しています。二人めは姉です。それは私の少しのわがままを受け入れてくれたり、私がいっしょに買い物に行けないとき、私の分まで買ってきてくれたからです。勉強もみてくれて分からないところは教えてくれます。だから母と姉には感謝しています。

●今週私は母にケーキの作り方を改めて教えてもらいました。毎回違う味のケーキを作ります。作り方も違いとても楽しいです。今回は簡単にできるショートケーキの作り方を教えてもらいました。いとこのお父さんが誕生日だったので2個作りました。プレゼントすると「おいしい」と言ってくれ、とてもうれしかったです。母は色んなものを作ることができ、とても尊敬しています。だから私も母みたいになりたいと思い、毎回色んな事を教えてもらっています。母にはいつもお世話になっています。

●私がお世話になったのは母です。今週はテストがあり塾に行くことが多くなりましたが、母が送迎してくれました。母が何かをしている時でも私のことを優先して送ってくれました。母が期待してくれるのでテストもがんばれました。良い点を取れて母も喜んでくれてうれしかったです。そんな母に恩返しのため家事をしました。私の家では母が家事をしてくれているので、自分ができることを精一杯がんばりました。これからも迷惑をかけると思うけど自分なりにがんばっていきたいです。

●今日は僕の父のことを書きます。僕の父は自営業をしています。仕事をもらって直接その場所に行き修理の仕事を行います。時々僕も父の仕事を手伝いに行くことがあります。3Kの仕事なのでよくけがをします。修理もロボットが入らないような狭いところがほとんどです。また季節によって過酷さが違います。夏は35度の暑さに作業着を着て仕事をするので父の体調が心配になります。そんな状態でお金をかせいでくれ、僕は父をととても尊敬します。

●僕が家族に親切にできたことは、おじいちゃんとおばあちゃんに対してのことです。おばあちゃんは体が不自由で足が特に弱いです。そのためベッドに足を上げたりズボンをはかせたりしています。おじいちゃんは先日風呂の中で倒れてしまったので、僕がいっしょに風呂に入ってあげるといつも笑顔でいます。僕がお世話になったことはおばあちゃんとおじいちゃんのことです。おじいちゃんは耳が遠くて僕が話しても聞こえないとき、よくおばあちゃんが助けてくれます。おじいちゃんは、おばあちゃんのお世話で僕ができないことを手伝ってくれます。この事が今週お世話になったことです。

担任からのほめ言葉シャワー



帰りの学活で誕生日を迎えた人やその日の主人公にほめ言葉シャワーを送っています。担任の先生がみなさんに送ったほめ言葉シャワーを紹介します。

〇〇さんへ

「周りに人が集まるで賞」何か気になる存在。そう思っている人は〇〇さんの周りにたくさんいます。それは君の人としての魅力です。今後も多くの挑戦を！！デルピエロはミスを恐れたプレーにファンタジーなプレーはないと言っています。
(林先生より)

〇〇さんへ

「サッチャーで賞」相手の気持ちをくみとる力、場の雰囲気を感じ予想する力（動き）が高いと思うときがたくさんあります。察知能力は、人と接するとき大切なことの一つ。潤滑油のような存在。
(林先生より)

〇〇さんへ

「自分の役割を果たすで賞」細かいところまでよく気がつき、どのようにしたらいいのか指示をよく聞いてきます。係や委員会、自分の役割をいつもクラスメートと協力して果たしています。ありがとう。
(石田先生より)

〇〇さんへ

「気遣い力があります！」自分の係の仕事でなくても積極的に手伝ったり、誰とでも話をし相手を楽しませています。言葉の選びかたが絶妙です。
(石田先生より)



保護者のみなさまへ

内観日記を読んでいると、家庭で何らかの手伝いをしている子どもたちが多くいることに気づきます。自分が手伝いをする事で家族の役にたっているという自己有用感を感じているようです。学校で大人が見ていても見ていなくても、変わらぬ態度で清掃活動に一生懸命に取り組むことができるのは、そのような家庭教育のおかげです。ありがとうございます。